

「J ポップの歌詞英訳」  
The English Translation of J-pop Lyrics

ウェンディ・チェン  
Wendy Chen

82-373 日本語の構造  
82-373 Structure of the Japanese Language

1. はじめに

私のトピックは「J ポップの歌の歌詞の英訳」だ。私は日本のポップミュージックが好きだから、日本のポップミュージックの歌詞から日英語の違いを探したい。データは NEWS の「さくらガール」、嵐の「Breathless」と「Your Eyes」から探すつもりだ。J ポップの歌詞は小説やゲームのナレーションより簡単だが、日英語の違いも探しできると思う。日本語の歌詞は出版された歌詞なので、英訳の歌詞はオンラインで「Color Coded Lyrics」というウェブサイトから探すつもりだ。そして、日本語と英語の比較と分析は文献を参考して述べる。

2. 日英語比較

2. 1. 日英語の<sup>ちが</sup>違いのデータの<sup>ぶんるい</sup>分類

私が分析したい日英語の一番大きい違いは英語の人間中心の構文と日本語の状況中心の構文だ。英語は状況の中の人に焦点を当てるが、日本語は状況全体に焦点を当てる。英語は主語-動詞-目的語言語だが、日本語は主語-目的語-動詞言語だ。日本語の文の中で、名詞と動詞の関係を指し示している後置詞はいつもある。そして、日本語には「A には B がある」構文をたくさん使っているけど、英語には「A は B を持つ」構文を使っている。日本語はたくさん擬態語や擬声語を使っている。でも、英語には擬態語や擬声語の使用も少なく、日本語の擬態語や擬声語の翻訳もない。最後、日本語は間接的に述べて、英語はもっと直接だ。

## 2. 2. 日英語の<sup>ちが</sup>違いの<sup>せつめい</sup>説明

例えば、NEWSの「さくらガール」の歌詞の中に：

「言葉にならない キミの『さよなら』に まだ受け入れられないことばかり」

「I couldn't say anything and you bade me 'farewell' I had not accepted it」

日本語の歌詞は省略言語で、主語がない。その反対の英訳は主語の「I」がある。その上、日本語の歌詞は状況中心の構文で、英訳の歌詞は人間中心の構文だ。「言葉にならない」とその翻訳の「I couldn't say anything」を比べて、日本語と英語の認知パターンも違う。日本語は間接的で、散漫な、婉曲的な発想法があるので、英語は直接的に明確な、一般的に非婉曲的な発想法がある。「言葉にならない」は間接的で、直訳して「(I was) unable to form words」だと思う。一方、英語の歌詞はもっと直接だ。そして、英訳の歌詞には「ばかり」の翻訳もない。もう一つの例、

「風が吹いて 散るように はらはらと 散るように あの風が連れ去ってゆく 舞って 舞って 僕のさくら」

「It' ll scatter and flutter down as the breeze blows and be taken away. Flutter away, my cherry blossom」

日本語の歌詞には、さくらが散っている状態から受ける感じを象徴的に表現する擬態語の「はらはら」を使っている。そして、その擬態語の「はらはら」を使った時、英語には「scatter」や「flutter」の翻訳があつて。しかし、日本語の歌詞の「舞って」の英訳は「はらはら」と同じ、「flutter」になつてしまった。

嵐の「Breathless」の歌詞の中に、

「見覚えのあるその姿を まどろみの中で追いかけてみる 夢が覚めても思い出せない」

「In my sleep, I see a figure I think I remember from somewhere and try to chase after them When I wake up from my dream, I can't recall who it was」

同様に、この日本語の歌詞は状況に焦点を当てているのに、英訳の歌詞は人間に焦点を当てているのだ。なお、この日本語の歌詞は主語がないけど、英訳の歌詞は主語の「I」がある。日本語の歌詞は「ある」も使った。でも、英訳の歌詞にはその「ある」の翻訳がない。

嵐の「Your Eyes」の歌詞の中に、

「暗闇の中当ても無くて 君は途方に暮れてた」

「Wandering aimlessly in the dark, you felt completely lost」

日本語の歌詞「暗闇の中当ても無くて」には形容詞の「当てもない」だけを使って、動詞を全然使っていないのに、英訳の歌詞は「wandering」があった。「君は途方に暮れてた」も同じように、「felt」の日本語がなかったのに、英訳の歌詞には「felt」を加えた。

## 2. 3. 日英語の<sup>ぶんかてきみかた</sup>文化的見方(cultural perspectives)の違い

英語の文は主語がなければならないので、いつも人間のことを述べる。日本語の文は主語がなくてもいいので、人間より状況のことに焦点を当てる。日本語は主語や目的語も省略して、状況だけを述べることが普通だ。でも、英語には、主語や目的語はないことは珍しい。英語の方は、言おうとすることを詳しく述べすぎて、日本語の方は言おうとすることを十分に述べない。そして、日本語の方はいつも最低限の言葉の手がかりを基に、完全なシナリオを作り上げている。一方、英語の方は、最大限の言葉の手がかりは必要だ。

## 3. おわりに

日本語と比較したら、英語の構造は完全だ。日本語は主語を省略してもいいので、大抵状況だけを表現する。英語には、主語を省略したら分かりにくいになるわけだ。英語の文はたくさん接続詞があって、主語、動詞と目的語が接続できる。でも、日本語の会話にとって、聞き手の理解は必要だ。聞き手は会話の前後関係を理解できなかつたら、会話を理解できない。英語を話す時、自分の気持ちを届けるのは大事だと思う。日本語を話す時、話者が自分の気持ちを話さなくても聞き手は思いやりをするので、日本語話者は気持ちを届けるのを大事にしない。そして、日本語会話の文脈も大事だ。だから、日本語の字数制限と英語の字数制限は同じ数字があっても、違う内容が書けるわけだ。さらに、日本語の会話は相手の年齢や社会地位に影響されていて、英語の会話と違う意味がある。英語の会話はいつも直接簡明で、非ネイティブスピーカーも簡単に理解できると思う。

データ出典

colorcodedlyrics.com

<http://jpoptime.com/arashi-your-eyes/>

参考文献

授業用ハンドアウト

山田雅重(1997)『日本語の発想・英語の発想』丸善

池上嘉彦(2006)『英語の感覚・日本語の感覚 <ことばの意味>のしくみ=NHK ブックス

Nisbett, Richard E. (2003) *The Geography of Thought*

Monane, Tazkuko & Rogers, Lawrence (1977) “Cognitive Features of Japanese Language and Culture and Their Implications for Language Teaching”

Hinds, John (1986) 『日本語らしさと英語らしさ』くろしお